追加資料 2-1

（案）

地域福祉に関するアンケート

皆さまの声をお聞かせください

市民の皆さまには、日頃から市政へのご理解、ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

市では、令和８年度からスタートする「白井市第３次地域福祉計画」の策定を進めています。

策定にあたり、市民の皆さまのご意見やご要望をうかがい、今後の福祉施策に役立てることを目的に、アンケート調査を実施することとしました。

この調査票は、市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に抽出した 1,500 名にお送りしています。調査は無記名で行い、結果は統計的に処理されます。個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることはありません。

皆さまの声をお聞かせください。ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和６年 12 月　白井市長 笠井 喜久雄

ご記入にあたってのお願い

●あて名に書かれたご本人がお答えください（代筆可）。

●氏名や住所は記入しないでください。

●お答えは、各設問の指示にしたがって記入してください。

●ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和７年１月６日（月）まで**に投函してください（切手は不要です）。

【この調査はスマートフォンやパソコン等からも回答できます】

右の二次元コードまたは下記 URL から専用のページにアクセスしてください。

WEB で回答した場合、調査票の返信は不要です。

WEB か調査票かいずれかの方法でご回答ください。

最後の“送信”を押した後は、回答内容を修正することができませんので、ご注意ください。

URL～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

後日追加

【お問い合わせ先】
白井市役所　福祉部　社会福祉課
〒270 - 1492　千葉県白井市復 1123
TEL：047-497-3482　　FAX：047-492-3033

「地域福祉計画」は
「地域共生社会」を実現するための計画です。

■地域共生社会って？

「支援する人」「支援される人」という関係を超えて、様々な地域の人や団体が役割を持ち、協力しながら、すべての人の暮らしと生きがいをともに創っていく社会のことです。

地域共生社会のイメージ

■地域共生社会を目指して、「地域福祉」を進めています

子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…など、ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？
地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、このような不安や不便に対して、地域の人や団体などが協力して取り組むことをいいます。
近所の人にあいさつをしたり、高齢の人に手を貸したりすることも、大切な地域福祉の活動です。このような活動に一人ひとりが取り組める環境やきっかけをつくることが、地域共生社会の実現につながります。

1　あなたのこと（あて名の方）について

問１　あなたの性別（自認する性別でお答えください）。（○は１つ）

1．男性
2．女性
3．その他
4．無回答

問２　あなたの年齢（令和６年 12 月１日時点）。（○は１つ）

1．18～19 歳
2．20 歳代
3．30 歳代
4．40 歳代
5．50 歳代
6．60～64 歳
7．65～69 歳
8．70～74 歳
9．75～79 歳
10．80 歳以上

問３　あなたのお住まいの地区。（○は１つ）

1．白井第一小学校区
神々廻の一部、白井、復（下長殿、上長殿、法目）、根（白井木戸、七次）、木の一部、河原子の一部
2．白井第二小学校区
折立、富塚の一部、中、名内、今井、平塚、河原子の一部、十余一の一部
3．白井第三小学校区
冨士、復（四町会）、根（丸山、白井木戸、オージーコートヴィレッジ）
4．大山口小学校区
大山口１丁目・２丁目、大松１丁目、西白井１丁目・２丁目、根（清水口、大松、大山口）、富塚の一部
5．清水口小学校区
清水口１丁目～３丁目、けやき台１丁目・２丁目、根（千草、中木戸）
6．南山小学校区
南山１丁目～３丁目、堀込１丁目、笹塚１丁目～３丁目、復（富ヶ谷）、根の一部
7．七次台小学校区
七次台１丁目～４丁目、野口、西白井３丁目・４丁目、根（百合丘、クレイドルガーデン西白井）、木の一部
8．池の上小学校区
池の上１丁目～３丁目、堀込２丁目・３丁目、復（富ヶ沢、ひまわり）、根(白井木戸)
9．桜台小学校区
桜台１丁目～５丁目、十余一の一部、清戸、谷田、神々廻の一部、武西

問４　あなたの世帯構成。（○は１つ）

1．一人暮らし
2．夫婦のみ世帯
3．親と子の二世代世帯
4．親と子と孫の三世代世帯
5．その他

問５　あなたの働き方。（○は１つ）
※複数の仕事に従事している場合は、一番長い時間している仕事を選んでください

１．正規の職員・従業員・役員
２．非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト）
３．自由業・自営業（家業手伝いを含む）
４．専業主婦・主夫
５．学生
６．収入をともなう仕事をしていない（仕事を探している）
７．収入をともなう仕事をしていない（仕事を探していない）
８．その他

問６　あなたの白井市の居住年数。（○は１つ）

１．１年未満
２．１～４年
３．５～９年
４．10～19 年
５．20～29 年
６．30 年以上

問７　あなたのお住まいの形態。（○は１つ）

１．持ち家（一戸建）
２．持ち家（マンションなどの集合住宅）
３．民間の賃貸住宅
４．公的な賃貸住宅
５．給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮
６．その他

問８　あなた自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

１．未就学児
２．小学生
３．中学生・高校生
４．75 歳以上の人
５．介護を必要とする人
６．障がいのある人
７．悩みや困りごとがあり、生きづらいと感じている人
８．いずれもいない

問９　あなたはご自身の経済的な状況について、どのように感じていますか。（○は１つ）

１．経済的に余裕がある
２．経済的に余裕はないが、生活には困らない
３．経済的に余裕はないが、なんとか生活している
４．経済的に余裕がなく、生活が苦しい
５．わからない

問 10　あなたの健康状態についてお答えください。（○は１つ）

１．よい
２．まあまあよい
３．ふつう
４．あまりよくない
５．よくない

2　近所付き合い、地域の暮らしについて

問 11　あなたの世帯は自治会に加入していますか。（○は１つ）

1．現在加入している
2．以前は加入していたが、現在はしていない
3．加入したことがない
4．自治会があるか知らない

問 12　あなたと近所の人との関係はどれに最も近いですか。（○は１つ）

1．地域の行事や会合に参加したり、困ったときに助け合う
2．地域の行事や会合に参加する程度の付き合い
3．世間話をする程度の付き合い
4．あいさつをする程度の付き合い
5．近所との付き合いはほとんどない
6．顔も知らない人が多い

問 13　暮らしていく上で、近所や地域との関わりは必要だと思いますか。（○は１つ）

1．必要だと思う
2．ある程度は必要だと思う
3．あまり必要ないと思う
4．必要ないと思う

【問 13 で「3」または「4」（必要ないと思う）と回答した方】

問 13-1　必要ないと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．どのように関わればよいかわからないから
2．この地域にずっと住むつもりはないから
3．仕事や友人との付き合いがあれば十分だから
4．地域情報はインターネットや SNS で得られれば十分だから
5．困ったときは、関連する相談機関（市役所等）に相談すれば十分だから
6．プライバシーを知られたくない、詮索されたくないから
7．地域での付き合いがわずらわしいから
8．過去に地域でのトラブルがあったから
9．その他（具体的に　　）
10．特に理由はない

問 14　お住まいの地域に愛着を感じていますか。（○は１つ）

1．とても感じる
2．少し感じる
3．どちらともいえない
4．あまり感じない
5．まったく感じない

問 15　お住まいの地域にお互いに助け合うような「地域のつながり」を感じますか。（○は１つ）

1．とても感じる
2．少し感じる
3．どちらともいえない
4．あまり感じない
5．まったく感じない

問 16　次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ〇は１つ）

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア．自分には人との付き合いがないと感じることがある	1	2	3	4
イ．自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
ウ．自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4
エ．自分は孤独であると感じることがある	1	2	3	4

問 17　現在、あなたはどの程度幸せですか。（〇は１つ）

とても不幸 ←――――――――――――――――――→ とても幸せ

0点　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10点

＊「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点として当てはまる点数をお答えください。

問 18　あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

1．大量のごみが自宅や敷地に放置されている世帯（ごみ屋敷）
2．高齢者が同居の高齢者の世話（看病、介護、介助など）をしている世帯（老老介護）
3．世帯全員が近隣や地域と関わりを持っていないと思われる世帯（孤立世帯）
4．自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯（ひきこもり）
5．高齢の親が中高年の子どもの生活を支えている世帯（8050 問題）
6．親の世話（看病、介護、介助など）と子育てを同時に抱えている世帯（ダブルケア）
7．未成年の子どもが親や兄弟姉妹を介護し、自分の時間を持てない世帯（ヤングケアラー）
8．家族の間で虐待が疑われる世帯（虐待）
9．隣近所で何かのトラブルが起きていると思われる世帯
10．上記以外で、課題を抱えていると思われる世帯（具体的に　　）
11．見たり、聞いたりしたことはない

3　ボランティア活動や助け合い活動について

問 19　あなたはボランティア活動や助け合い活動をしていますか。（○は１つ）

１．現在活動をしている　　２．以前に活動したことがある　　３．活動したことはない

【問 19 で「１」または「２」（活動経験あり）と回答した方】

問 19-１　あなたが行ったボランティア活動や助け合い活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．地域での見守り活動（相談や安否確認）
２．高齢者への支援
３．障がいのある人への支援
４．子どもの活動・子育て支援
５．教育・学習の支援
６．国際交流活動
７．自然や環境保護活動
８．防災・防犯・交通安全活動
９．スポーツ・文化・芸術活動
10．清掃・環境美化活動
11．青少年の健全育成に関する活動
12．居場所づくり・多世代交流活動
13．その他（具体的に　　）

問 20　あなたがボランティア活動や助け合い活動に参加するとしたら、どのような活動に興味がありますか。現在の活動や地域の状況に関係なく、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．地域での見守り活動（相談や安否確認）
２．高齢者への支援
３．障がいのある人への支援
４．子どもの活動・子育て支援
５．教育・学習の支援
６．国際交流活動
７．自然や環境保護活動
８．防災・防犯・交通安全活動
９．スポーツ・文化・芸術活動
10．清掃・環境美化活動
11．青少年の健全育成に関する活動
12．居場所づくり・多世代交流活動
13．その他（具体的に　　）
14．そうした活動に参加したくない・関心がない

問 21　あなたは、どのような条件が整うとボランティア活動や助け合い活動に参加しやすいですか。現在の活動や地域の状況に関係なく、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．活動情報の提供がある
２．時間や期間にあまりしばられない
３．関心・興味のあるテーマの活動がある
４．友人等といっしょに参加できる
５．身近なところで活動できる
６．適切な指導者やリーダーがいる
７．事前講習がある
（必要な知識・技能が習得できる）
８．子どもの世話や介護を代わってもらえる
９．活動に対する謝礼などがある
10．経済的な負担が少ない
11．身体的な負担が少ない
12．その他（具体的に　　）
13．そうした活動に参加したくない・関心がない

4　相談、福祉情報について

問 22　あなたは次の地域福祉に関する活動や組織について知っていますか。（それぞれ○は１つ）

	名前も内容も知っている	名前は聞いたことはある（内容は知らない）	知らない
ア．社会福祉協議会	1	2	3
イ．民生委員・児童委員	1	2	3

問 23　あなたの地区を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。（○は１つ）

1．知っている　　2．知らない

「社会福祉協議会」「民生委員・児童委員」とは・・・？

社会福祉協議会：地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉法人

民生委員・児童委員：住民の相談に応じ、行政などにつなげる役割を担う、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員であり、無報酬の市民ボランティア

問 24　あなた自身や家族が、日常生活で困ったときに相談できる人や機関はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族や親戚（同居、別居を問わない）
2．友人・知人
3．近所の人・自治会
4．民生委員・児童委員
5．かかりつけ医
6．ケアマネジャー（介護支援専門員）・ヘルパー（介護員）
7．仕事・学校関係の人（職場の同僚、保育園・幼稚園・学校の先生やカウンセラー）
8．地域包括支援センター
9．市役所の窓口
10．社会福祉協議会・地区社会福祉協議会
11．その他（具体的に　　）
12．相談できる人や機関はない

問 25　現在、あなた自身や家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。（○は１つ）

1．ある　　2．ない

【問 25 で「1．ある」と回答した方】

問 25-1　お困りの内容は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族・親族間の人間関係（虐待、ひきこもりなどを含む）
2．勤務先や近所の人間関係
3．子育てに関すること
4．看病・介護に関すること（老老介護、ヤングケアラーなども含む）
5．健康に関すること
6．就労に関すること
7．金銭トラブル
8．事故、事件などの被害
9．その他（具体的に　　）

問 26　市や社会福祉協議会の相談窓口に求めることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．1か所で色々な相談ができる
2．チャット、LINE で相談ができる
3．予約なしで相談ができる
4．早朝や夜間でも相談ができる
5．土日・祝日でも相談ができる
6．相談に要する時間に制限がない
7．プライバシーが守られる
8．相談の際、子どもや要介護者の面倒をみてくれる
9．専門性の高い相談ができる
10．その他（具体的に　　）
11．特にない

問 27　あなたは、自分に必要な福祉の情報を入手できていると思いますか。（○は１つ）

1．入手できている　　2．入手できていない　　3．今のところ情報を得る必要がない

問 28　市の福祉の情報は、どのように発信されると接しやすいと思いますか（どこから入手したいですか）。（あてはまるものすべてに○）

1．市の広報紙
2．市のホームページ
3．しろい保健福祉ガイドブック（保健や福祉に関する情報をまとめたもの）
4．公共施設等への掲示物・配付物
5．自治会の回覧板
6．しろいメール配信サービス
7．市公式 LINE
8．市公式 SNS
9．その他（具体的に　　）

5　安心して暮らせる地域づくりについて

問 29　あなたは、日頃から災害発生時に備えていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．防災訓練に参加している
2．避難場所や避難経路を確認している
3．家具などの転倒防止を行っている
4．避難行動要支援者名簿に登録している
5．３日分以上の食料、水などを備えている
6．防災マップ、洪水ハザードマップを確認している
7．その他（具体的に　　）
8．特にしていない

問 30　災害が起こったとき、あなたは自力で避難できますか。また、手助けしてくれる人はいますか。（○は１つ）

1．自力で避難できる
2．自力では避難できないが、手助けしてくれる人がいる
3．自力では避難できず、手助けしてくれる人もいない

問 31　犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を知っていますか。（○は１つ）

1．両方とも知っている
2．「社会を明るくする運動」のみ知っている
3．「再犯防止啓発月間」のみ知っている
4．両方とも知らない

問 32　犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの社会復帰を応援するために、市や地域が行う支援として何が重要だと考えますか。（○は３つまで）

1．就労支援
2．住まいの確保支援
3．経済的支援
4．地域住民の声かけ・関わり
5．非行の防止・就学支援
6．民間協力者の活動促進
7．その他（具体的に　　）
8．どのような支援が必要かわからない
9．特に必要な支援はない

問 33　あなたは、成年後見制度について知っていますか（○は１つ）

1．名前も内容も知っている
2．名前は聞いたことはある（内容は知らない）
3．知らない

「成年後見制度」とは…？

知的障がいのある人、精神障がいのある人、認知症高齢者等、判断能力が十分でない人を保護するための民法上の制度で、本人の財産管理や施設等への入退所等の契約を適切な保護者（後見人・保佐人・補助人）が代行して行うことで、本人の権利を守る制度です。

問 34　将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。（○は１つ）

1．利用を検討する（利用している）　　2．利用しない　　3．わからない

【問 34 で「2．利用しない」と回答した方】

問 34-１　制度を利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．制度の内容や利用方法がわからない
2．事務手続きが面倒そう
3．後見人に財産管理や契約手続きを任せるのは不安
4．申立てにかかる費用や後見人に支払う報酬が負担
5．家族などに支援してもらいたい
6．その他（具体的に　　）

7　市の地域福祉について

問 35　住民同士の助け合いを地域で広げるために、市が力を入れて取り組むことは何だと思いますか。（○は３つまで）

1．福祉活動の重要性の発信や地域共生に関する社会の理解促進
2．住民同士、住民と行政が地域福祉について話し合う機会の確保
3．誰でも気軽に集える「居場所」の確保
4．地域福祉やボランティアについての研修・講座の開催
5．わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供
6．地域福祉活動団体の運営ノウハウ（資金調達等）の提供
7．地域福祉活動の相談や指導をするコーディネーターの派遣
8．地域福祉活動やボランティア等の拠点・窓口の整備
9．地域福祉活動に伴う費用助成の充実
10．自治会の加入促進
11．有志（周りの人、近所同士）で助け合う仕組みづくり
12．その他（具体的に　　）
13．わからない

問 36　助け合い・支え合える地域をつくるためのアイディアや、福祉に関することなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。（自由記入）

ご協力ありがとうございました。

ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和７年１月６日（月）まで**に投函してください（切手は不要です）。